



くまもとの風土と文学

Climate and Literature of Kumamoto



城下町熊本には吉田松陰や坂本龍馬、勝海舟も訪ねて来ています。徳富蘇峰・蘆花の父一敬は、横井小楠と龍馬が対談している場に同席。その光景を蘆花が小品「沼山津村」に描いています。軍医だった森鷗外は小倉赴任中、熊本に出張し、のちに「阿部一族」を書きました。第五高等学校が創られ、小泉八雲、夏目漱石などが教えました。漱石は同僚らと宮本武蔵が籠ったとされる霊巖洞にも出かけています。五高からは寺田寅彦、下村湖人、林房雄、上林暁、木下順二、梅崎春生、中野孝次など多くの文学者が出ています。